

鹿児島県曾於郡大崎町菱田川沖合における外国貨物船の座礁・流出油事故（最終報）

平成14年8月20日
09時30分現在
消防庁特殊災害室

1. 発生日時

平成14年7月25日 21時43分（海上保安庁覚知）

2. 発生場所

鹿児島県曾於郡大崎町菱田川沖合200m付近の海上

3. 事故原因及び概要

パナマ船籍穀物運搬船が座礁（台風によるものであるかは海上保安庁で調査中）し、船体が二つに折れ、燃料油が流出し沿岸一帯に流れたもの。乗組員19人は、救命ボートで脱出したが、うねり等で救命ボートが本船に打ち付けられ大破したため、全員が海上に投げ出された。15名は海岸にたどり着き救助され、残りの4名は行方不明となっていたが4人の死亡が確認された。

4. 座礁船

- ・船名 穀物運搬船「コーベンチャー号」（総トン数：36,080t、積荷：トウモロコシ）
- ・船籍 パナマ船籍
- ・乗組員 19人（インド人4人、フィリピン人15人）
- ・搭載燃料 A重油 65トン、C重油 837トン（合計902トン）

5. 被害状況

人的被害 死者4名 中等症3名 軽症12名
物的被害 穀物運搬船1隻（大破）、燃料油、積荷（トウモロコシ）の流出
油流出量 400～625klの模様。（海上保安庁情報）

6. 対応状況

消防庁

- ・7月26日 8時50分 覚知 情報収集を開始
- 19時00分 県対策本部の設置の連絡を受け、特殊災害室に災害対策室を設置（第一次応急体制）。
- ・8月20日 9時00分 災害対策室（第一次応急体制）を解除。
- 鹿児島県
- ・7月26日 3時30分 県土木事務所により行方不明者の捜索及び現地調査報告
- 8時30分 第1回油流出対策連絡会議開催
- 11時30分 第2回油流出対策連絡会議開催
- 消防防災ヘリにより状況把握
- 15時35分 第十管区海上保安本部長から鹿児島県知事に対し、海防法第41条の2に基づき防除要請（文書）
- 17時00分 鹿児島県流出油等対策本部設置
（当面は対策班で対応、班長：環境生活部次長）
- 17時40分 鹿児島県流出油等対策班会議開催
- ・7月27日 情報収集等実施
- ・7月28日 情報収集等実施
- ・7月29日 11時30分 第2回鹿児島県流出油等対策班会議開催
- ・7月30日 8時30分 海岸部油性ゴミ回収作業（22人）

大崎町

- ・7月26日 6時38分 8時00分 行方不明者の捜索(3時30分現在:人員4名)
海上保安庁等との打合わせを開催
油性ごみ等対策本部(本部長:町長)を設置
海岸付近の監視活動
- ・7月27日 海岸付近の監視活動、海上保安庁等との打合わせを開催
- ・7月28日 海岸付近の監視活動、海上保安庁等との打合わせを開催
- ・7月29日 海岸付近の監視活動、海上保安庁等との打合わせを開催
- ・7月30日 8時30分 海岸部油性ゴミ回収作業
海岸線4Kmを10区画に区切り、海岸線の漂着油が付着したトウモロコシ、ゴミ等を約60t回収
343名(県22、大崎町役場22、隣接4町役場50、ボランティア36等)
- ・7月31日 8時30分 海岸部油性ゴミ回収作業
140名(ボランティア100名、役場職員40名)
昨日の残り個所(菱田川及び田原川河口付近)を回収
- ・8月1日 8時30分 海岸部油性ゴミ回収作業
38名(ボランティア25名、役場職員13名)
残り個所(8,9区画)のオイルサンドの回収作業実施

大隈曾於地区消防組合消防本部

- ・7月26日 行方不明者の捜索及び救急搬送(出勤人員:消防本部35人、大崎町菱田分団31人)
海岸付近の監視活動
- ・7月27日 海岸付近の監視活動
- ・7月28日 海岸付近の監視活動
- ・7月29日 海岸付近の監視活動
- ・7月30日 救急隊待機及びエアーテント準備
交通整理(大崎町消防団)

海上保安部

- ・7月25日 22時30分 中規模海難対策本部設置(第十管区海上保安本部)
巡視船4隻にて調査
- ・7月26日 9時00分 11時34分 15時30分 行方不明者の捜索(3時30分現在:人員8名)
事故対策室を設置(海上保安庁本庁)
特殊救難隊3名が船尾に降下、流出油の防止措置、船体損傷状況調査
鹿児島湾・志布志湾排出油防除協議会開催(場所:大崎町役場)
出席者:九州地方整備局志布志港湾事務所、鹿児島県志布志港湾事務所、大崎町、志布志町、有明町、東串良町、高山町、内之浦町、大隈曾於地区消防、大隈肝属地区消防、志布志備蓄(株)志布志事務所、鹿児島県消防防災課
- ・7月27日 機動防除隊及び海保航空機により浮流油の状況調査
- ・7月28日 機動防除隊及び海保航空機により浮流油の状況調査
燃料タンク残量調査
- ・7月29日 機動防除隊及び海保航空機により浮流油の状況調査
鹿児島湾・志布志湾排出油防除協議会開催(場所:大崎町役場別館)
燃料タンク残量及び荷積みの状況調査
- ・7月30日 機動防除隊及び海保航空機により浮流油の状況調査

- ・ 7月31日 海岸部油性ゴミ回収作業
機動防除隊及び海保航空機により浮流油の状況調査
- ・ 8月 1日 海岸部油性ゴミ回収作業
機動防除隊及び海保航空機により浮流油の状況調査
- ・ 8月 7日 第1回パナマ貨物船コープベンチャー号船骸撤去連絡会議
- ・ 8月16日 第2回パナマ貨物船コープベンチャー号船骸撤去連絡会議

7. 現在の状況及び今後の対応

- ・ 8月1日海岸部油ゴミ回収作業完了
- ・ 日本サルベージ(株)により船体(破損した第2タンク以外の第1、第3タンク)の残油の抜き取り作業を8月4日より実施、15日回収作業終了。
- ・ 8月末頃までに、残った船体の撤去作業を行う予定であり、今後、大きな被害が発生することはないと予想される。